

平成23年度  
9月補正予算案の概要

京 都 府



# 補正予算案の内容

## 9月補正の考え方

6月の補正以降、記録的な円高が進むなど、厳しい状況の続く京都の経済情勢への対応をはじめ、災害、エネルギー対策などを中心に編成

### 6月補正予算

震災の影響により悪化する経済情勢への対応など

- ①円高、雇用・経済対策
- ②災害から“いのち”を守る対策
- ③エネルギー対策
- ④京のスポーツパワーアップ対策

# ①円高、雇用・経済対策



# 5つの緊急対策

## ➤ 中小企業円高緊急対策事業

→ 生産ラインの抜本的な見直しなど、円高に立ち向かう京の企業を応援

## ➤ 京都企業海外流出防止緊急対策事業

→ 京都で立地しようとする企業の投資を応援

## ➤ 第2次 京都観光緊急回復対策事業

→ 5月補正に続く第二弾 秋冬に向けた誘客活動を応援

## ➤ 大学生就職緊急支援事業

→ 中小企業とのマッチングで来春の新卒者内定を促進

## ➤ 林業大学校整備費

→ 来春開校に向けた準備



# 円高経済対策

生産ラインの抜本的な見直しなど、円高に立ち向かう京の企業を応援

## 中小企業円高緊急対策事業

362百万円

### ◆中小企業ものづくり革新支援事業

- ・中小企業応援隊に「円高特別対策チーム」を設置し、コストダウンに取り組む中小企業の抜本的な生産ライン見直しなどを専門家が支援

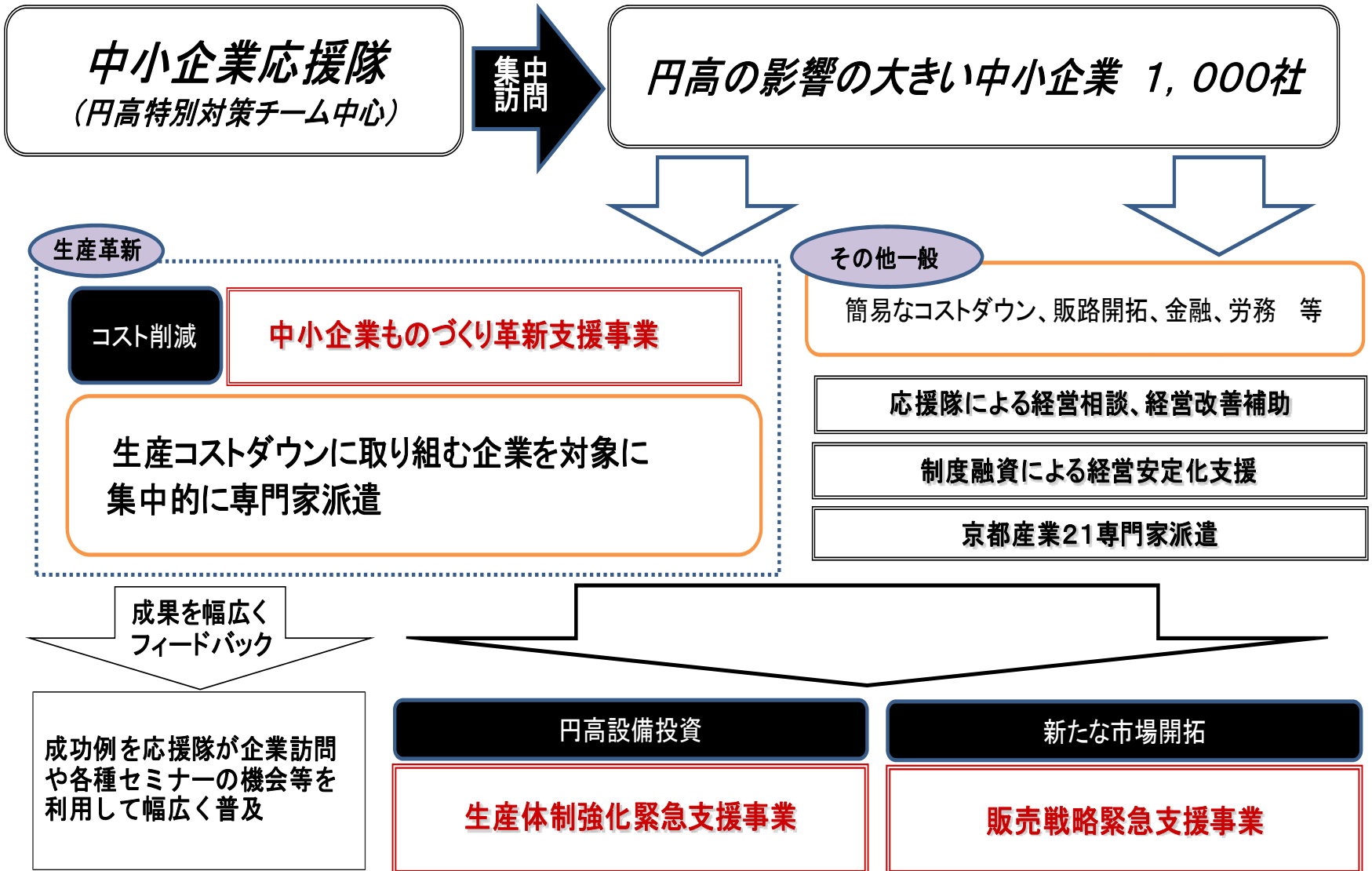
### ◆販売戦略緊急支援事業

- ・販路拡大、PR活動、製品改良等の取組を支援

### ◆生産体制強化緊急支援事業

- ・輸出関連企業の生産体制強化に必要な設備導入に対する補助

# 【支援スキーム】



## 京都企業海外流出防止緊急対策事業

- ◆ 京都企業の海外流出を防ぐため、企業の府内立地を支援。輸出関連企業には、施設整備助成に特例制度(\*)を適用

300百万円

\* 輸出関連企業に対し、助成限度額は通常の1.5倍

## 第2次 京都観光緊急回復対策事業

- ◆ 震災に加え、円高でさらに減少する外国人観光客を呼び込む積極的な誘客活動を支援
  - ・メディアを効果的に活用した外国人向けPR、クレジットカード決済システムの導入による受入環境の整備など、誘客対策に取り組む団体に対し助成

30百万円



# 雇用対策

中小企業とのマッチングで来春の新卒者内定を促進

## 大学生就職緊急支援事業

3百万円

### ◆短期職場体験・実地研修事業

- ・来春の新卒未内定者を対象に、京都ジョブパークにおいて、中小企業での職場体験や実地研修の機会を提供

### ◆就職後定着支援事業

- ・体験・研修等を行った中小企業に、正規雇用を前提に試用期間(マッチング期間:3箇月)の人件費等を助成(債務負担行為)



来春開校

## 林業大学校整備費

24百万円

- ◆森林・林業の担い手育成の拠点として、来年度開校  
予定の林業大学校の施設、教育用機械・器具等を  
整備

# ②災害から“いのち”を 守る対策



# 防災基盤緊急整備

身近な危険箇所の防災対策

## 生活密着型緊急防災対策事業(府民公募)

- ◆府民が身近に感じる危険箇所を公募し、河川護岸の補修など早期完了が見込まれる事業を重点実施
- ◆府民公募型安心・安全整備事業のスキームを活用

5億円

## 防災基盤整備先行対策事業

切れ目ない防災対策

- ◆来年度の出水期までに河川改修や土砂崩れ対策等の防災対策を切れ目なく実施

25億円(債務負担行為)



# 被災地復興支援対策

## 被災者生活再建支援事業

被災者支援

1,895百万円

◆ 都道府県が共同で造成している被災者生活再建支援基金への拠出(18億円)

・ 東日本大震災分(7億円)、通常災害対応分(基金積戻し 11億円)

\* 被災者支援金総額 4,400億円

地方 880億円(1/5) ← 地方分には特別交付税措置あり

国 3,520億円(4/5)

※ 全壊家屋で最大300万円の支援

## 被災地復興支援京都府・京都大学 連携プロジェクト推進事業

京大との連携  
で現地支援

◆ 京都大学と連携し、福島県を中心に、放射性物質の除染方法の提供や防災まちづくりなど、現地のニーズを踏まえた支援活動を展開するための調査費を計上

1百万円

# ③エネルギー対策



# 省エネ・創エネ支援対策

企業の省エネ対策を支援

## 中小企業エコ設備投資支援事業

100百万円

◆節電・省エネ(15%程度)につながる設備投資に対する補助

\* 補助額 支援対象経費の15%以内

家庭の省エネ・  
創エネ対策を支援

## スマート・エコハウス促進事業

601百万円

◆住宅の太陽光発電、燃料電池等の導入を促進するための融資制度の創設

\* 利率0.5% 融資限度額350万円

\* 併せて、スマート・エコハウスプランナーや普及促進協議会(仮称)を設置



## グリーンイノベーションパーク整備事業

- ◆ 関西学術研究都市（府立大精華キャンパス）において、太陽光発電や燃料電池等を用いた次世代型植物工場の実用化実験を開始

50百万円



## 北山文化環境ゾーンエコ路地整備事業

- ◆ 文化環境ゾーンに、太陽光パネル製ルーフを設置したプロムナードを整備

88百万円

# ④京のスポーツ パワーアップ対策





# 京のスポーツ施設再建事業

府民スポーツ施設の充実に着手

## 府立体育館全面リニューアル

42百万円

◆スポーツ施設あり方懇話会の提言を踏まえ、国際大会にも対応できる基幹スポーツ施設として、競技者・観客にとって魅力ある体育館に全面改装

\* 国際大会が開催可能な競技設備等の改修をはじめ、最新鋭スクリーンの導入や空調・照明など利用者のアメニティ向上につながる整備等

\* H24年度整備完了、H25年4月リニューアルオープン予定

\* ネーミングライツの募集を予定

# 生活関連対策



# 地域で支える生活の安心対策

高齢者・障害者の安心

1,473百万円

## 京都式地域包括ケア展開促進事業

### ◆ 総合交付金の追加補正

- ・市町村が地域の実情に応じた取組を強化したいとの要望に対応し、総合交付金を拡大
- ・京都式地域包括ケア推進機構が計画段階から伴走支援

\* 高齢者を地域で支える仕組みづくり、認知症高齢者の生活支援 等

### ◆ 特別養護老人ホームの整備

- ・整備した施設の連携スペースを地域包括ケア会議、いきいきサロン等に活用

### ◆ 障害者施設の整備

- ・グループホームや児童デイサービス等、地域で障害者を支える施設の整備に対する助成

子育て家庭  
の安心

## 待機児童解消促進事業

262百万円

◆未入園児一時保育事業の実施など、地域の子育てネットワークの拠点となる保育所の新設・増築等に助成し、待機児童の解消を促進

・保育所の新設・増築、家庭的保育(保育ママ)の新設等

保育所定員  
255人増



# 補正予算の規模

一般会計 5,840百万円

9月補正後予算額 917,899百万円

〔 参 考 : 22年9月補正後 886,546百万円 〕